

令和3年度事前評価(自主的点検)実施地区一覧表

(1)国有林直轄治山事業

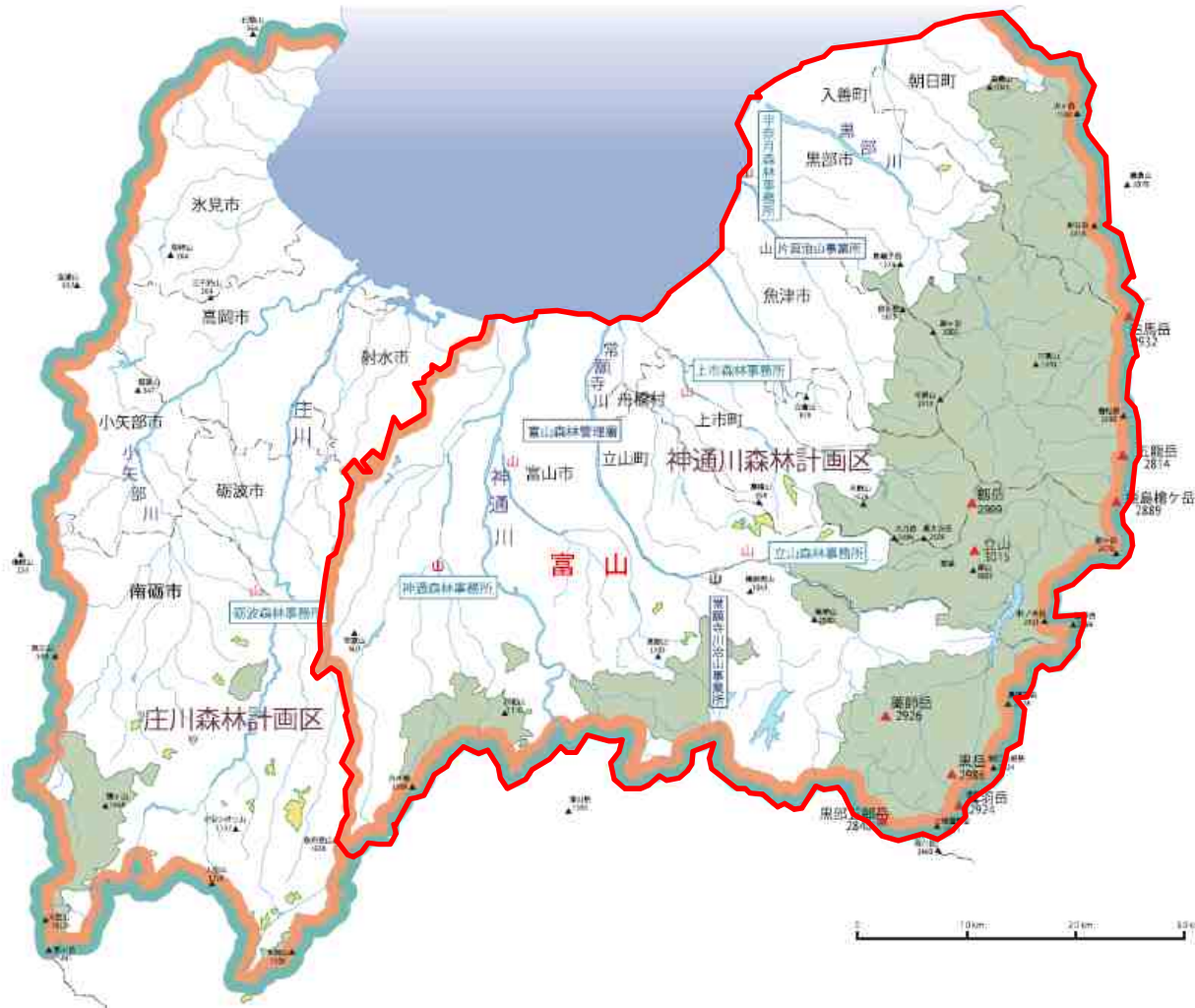
中部森林管理局


整理番号	都道府県	事業実施主体	事業名	事業実施地区名		総事業費 (千円) ※税込み	総便益 B (千円)	総費用 C (千円) ※税抜き	分析結果 B/C	チェックリスト																		備考			
										I 必須事項					II 優先配慮事項																
										1	2	3	4	5	1 有効性			2 効率性	3 事業の実施環境等												
															(1)	(2)	(3)		(1)	(1)	(2)	(3)	(4)						(5)		
																							①	②	③	④	⑤		①	②	③
1	富山	富山森林管理署	保安林整備	神通川	じんづうがわ	6,210	12,844	5,027	2.56	○	○	○	○	○	-	A	A	B	A	-	A	-	A	-	B	B	A	B	A	A	-
2	長野	北信森林管理署	復旧治山	朝日山	あさひやま	435,600	378,069	320,417	1.18	○	○	○	○	○	A	-	B	A	A	-	-	A	B	A	-	-	A	-	-		
3	長野	中信森林管理署	復旧治山	糠川谷	ぬかがわだに	308,000	430,593	246,990	1.74	○	○	○	○	○	A	A	-	A	B	-	-	A	B	A	C	B	A	B	-		
4	長野	東信森林管理署	復旧治山	角間川	かくまがわ	270,215	411,547	209,923	1.96	○	○	○	○	○	A	-	B	A	A	B	-	A	A	A	-	B	A	A	-		
5	長野	木曽森林管理署	復旧治山	小川入16(トヤノ沢)	おがわいり16(とやのざわ)	121,000	400,068	103,719	3.86	○	○	○	○	○	A	A	-	A	A	A	-	A	A	A	A	B	A	A	-		
6	長野	木曽森林管理署	復旧治山	日義4(岩屋沢)	ひよし4(いわやさわ)	236,500	772,440	201,808	3.83	○	○	○	○	○	A	B	B	A	A	A	-	A	B	A	A	B	A	A	-		
7	長野	木曽森林管理署・ 木曽森林管理署南木曽支署	保安林整備	木曽谷	きそだに	502,374	924,240	406,630	2.27	○	○	○	○	○	-	A	A	B	A	-	A	-	B	B	A	B	A	A	-		
8	長野	伊那谷総合治山事業所	復旧治山	北御所川	きたごしょがわ	710,377	741,388	519,115	1.43	○	○	○	○	○	A	A	-	A	A	A	B	A	B	A	A	B	A	A	B		
9	岐阜	飛騨森林管理署	復旧治山	福地(オンプ谷上流)	ふくち(おそぶだにじょうりゅう)	339,937	416,463	277,150	1.50	○	○	○	○	○	A	-	-	A	-	B	-	A	A	A	C	B	A	B	-		
10	岐阜	飛騨森林管理署	復旧治山	平湯(アンソ谷)	ひらゆ(あしそだに)	56,980	64,965	48,193	1.35	○	○	○	○	○	A	-	-	A	A	B	-	A	A	A	-	-	B	-	-		
11	岐阜	岐阜森林管理署	復旧治山	鹿山(観音滝左岸)	かやま(かんのんだきさがん)	389,999	454,301	317,451	1.43	○	○	○	○	○	A	B	-	A	-	B	-	A	B	A	C	B	A	B	-		
12	岐阜	岐阜森林管理署	保安林整備	飛騨川	ひだがわ	151,280	294,135	122,449	2.40	○	○	○	○	○	-	A	A	B	A	-	A	-	B	B	A	B	A	A	-		
13	愛知	愛知森林管理事務所	復旧治山	犬山(栗栖)	いぬやま(くりす)	110,000	110,973	94,121	1.18	○	○	○	○	○	B	-	B	B	A	B	-	A	A	A	-	-	A	-	-		

地区概要表

事業名	保安林整備事業	事業計画期間	令和4年度～令和8年度	事業実施地区名 (都道府県名)	じんづうがわ 神通川 (富山県)
事業目的	<p>当該地区は、富山県東部に位置し、立山・後立山連峰を源とし日本海に注ぐ黒部川、片貝川、早月川、常願寺川及び岐阜県を源とする神通川の富山県内の各支流域に広く分布し、登山等を目的とした多くの観光客が訪れるなど、森林レクリエーションの場として利用されており、大部分が国立公園や県立公園等に指定されている。</p> <p>地形は急峻で、脆弱な地質等の影響により融雪期を中心に土砂流出の盛んな流域が多く、国有林野のほぼ全域が土砂流出防備、水源かん養等の保安林に指定され、広域にわたり山地災害防止機能の発揮や水源林としての期待が高い地域である。</p> <p>森林の現況は、ブナ、カンバ類等を主体とした天然林が52%を占め、人工林はスギを主体に2%、残りの46%はその他高山帯の岩石地となっている。人工林の齢級構成は11～15齢級が主体を成している。</p> <p>事業対象森林は過密状態が進行するなど、このまま放置すると表土の侵食による崩壊の発生や、土砂及び倒木の流出により水土保持機能が著しく低下するおそれがある。</p> <p>このことから、本数調整伐等の森林整備を行い、水源かん養機能等の保安林が持つ公益的機能の維持・増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p>			事業実施主体	中部森林管理局 富山森林管理署
主な事業内容	本数調整伐等 15ha				
主な保全対象					
総事業費	5,646千円(税込み 6,210千円)				
位置図	別紙 位置図のとおり				

事前評価実施地区
位置図
神通川森林計画区



凡 例	
	評価区域

地区概要表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	令和4年度～令和12年度	事業実施地区名 (都道府県名)	あさひやま 朝日山 (長野県)
事業目的	<p>当地区は長野市中心部、長野県庁の西に位置する標高785mの旭山一帯の地区であり、郷土環境保全地域に指定され、地区内には旭山城跡や旭山観音などの遺跡が点在し、また地元では身近な山として多くの人達に親しまれている。</p> <p>施工地の地形は極めて急峻、地質は裾花凝灰岩層で風化が進み亀裂が発達しており、岩石の剥離落下や表層侵食が激しく、裾花川への土砂流出が絶えない状況である。また、令和元年10月の台風19号による集中豪雨により崩壊地の拡大崩壊が発生している。今後の集中豪雨等により拡大崩壊し、崩落土砂による裾花川の閉塞が危惧される。崩壊地の対岸は住宅密集地となっており、崩壊土砂により裾花川が閉塞した場合、保全対象への被害が懸念される。このため、山腹工の施工により崩壊法面の安定を図り、下流域の保全及び保安林機能の増進に寄与することを目的に本事業を実施する。</p>			事業実施主体	中部森林管理局 北信森林管理署
主な事業内容	山腹工 1.42ha				
主な保全対象	家屋13戸 市道300m 1級河川裾花川				
総事業費	396,000千円(税込み 435,600千円)				
位置図	別紙 位置図のとおり				

事前評価実施地区
位置図
朝日山地区

濃川広域流域
曲川下流森林計画区

大峰山

大峰山
1069

1099

朝日山
1068

富士/塔山
1061.2

長野市

朝日山地区

凡 例



事業評価区域

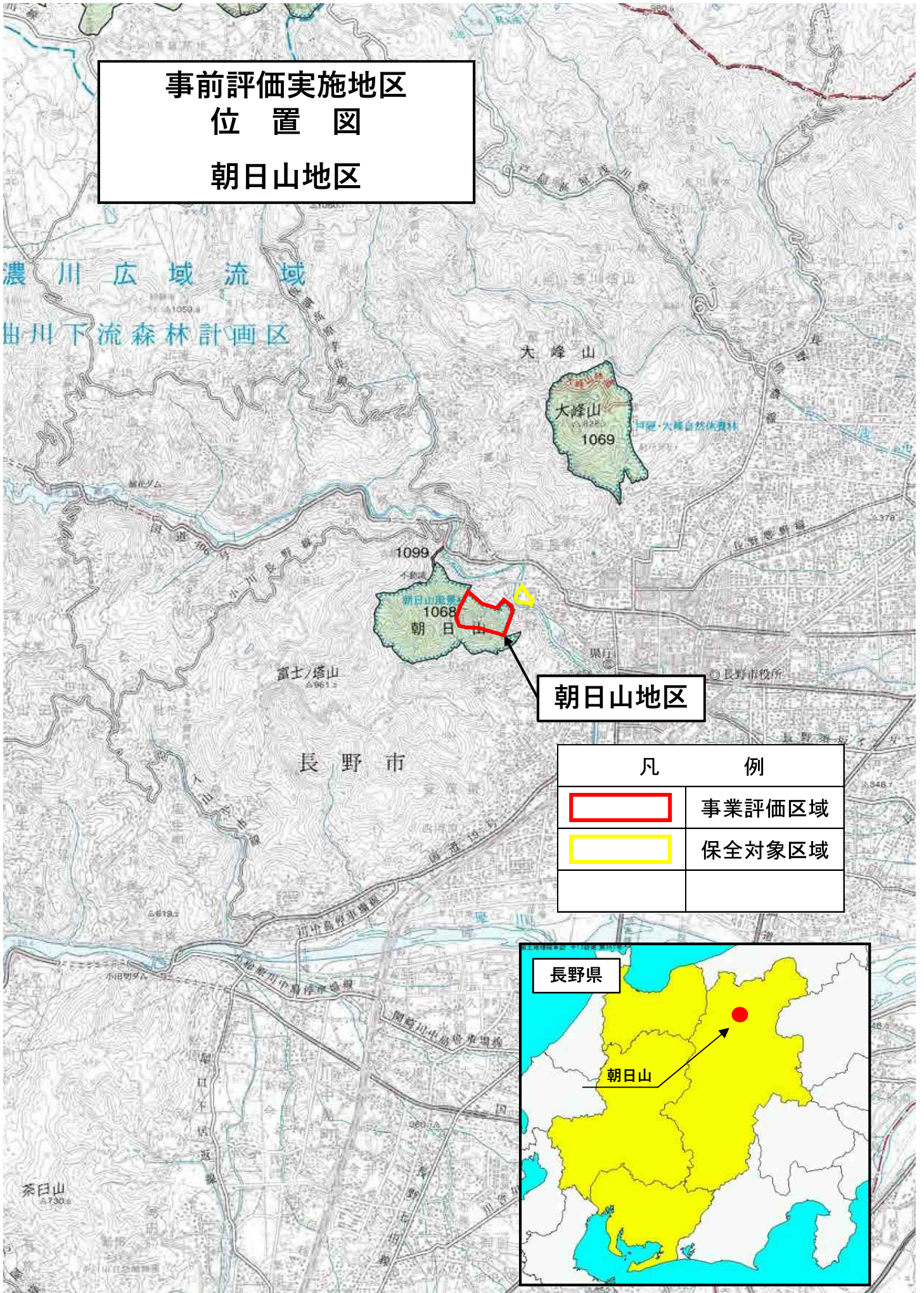


保全対象区域

長野県

朝日山

茶臼山
1730



地区概要表

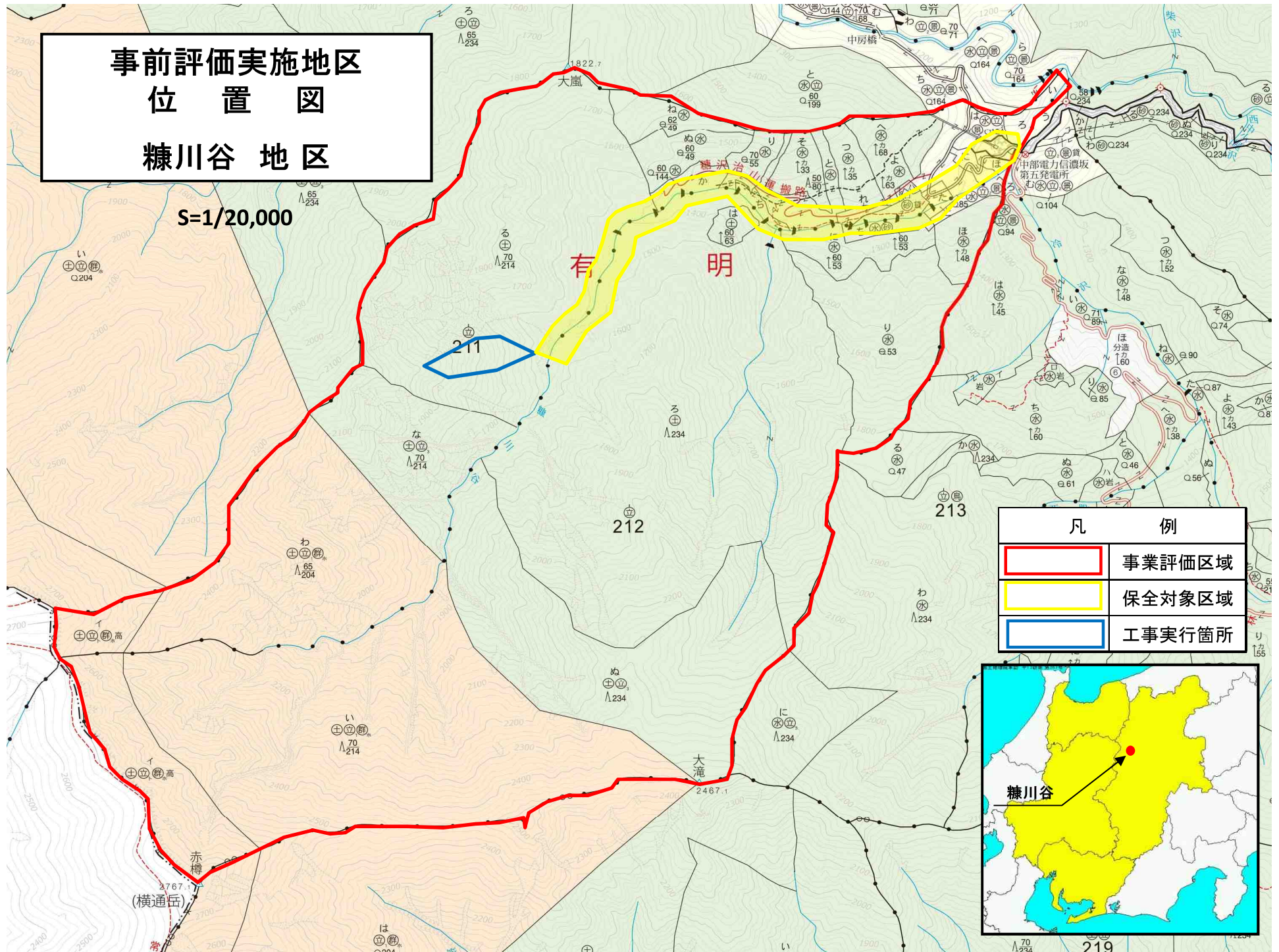
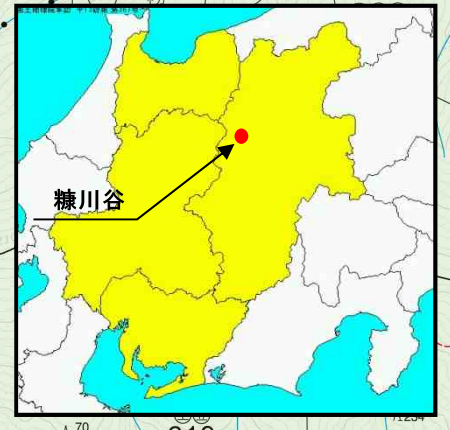
事業名	復旧治山事業	事業計画期間	令和4年度～令和8年度	事業実施地区名 (都道府県名)	ぬかがわだに 糠川谷 (長野県)
事業目的	当該地区は、長野県安曇野市の北西部に位置している。令和2年4月から5月にかけて発生した長野県中部群発地震の影響により表層が崩落した山腹崩壊地である。今後の集中豪雨等により裸地化した崩壊地の拡大による土砂等の流下が懸念され、下流には重要施設である県道及び発電施設等が存在しており早急な復旧対策が必要となっている。このことから、山腹工により崩壊地の拡大防止、土砂の生産・流出を抑止を図り、下流域の保全及び保安林機能の増進に寄与することを目的に本事業を実施する。			事業実施主体	中部森林管理局 中信森林管理署
主な事業内容	山腹工 6.46ha				
主な保全対象	県道500m、橋梁1箇所、発電施設1箇所				
総事業費	280,000千円(税込み308,000千円)				
位置図	別紙 位置図のとおり				

事前評価実施地区 位置図 糠川谷地区

S=1/20,000

有明

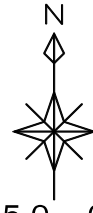
凡 例	
	事業評価区域
	保全対象区域
	工事实行箇所



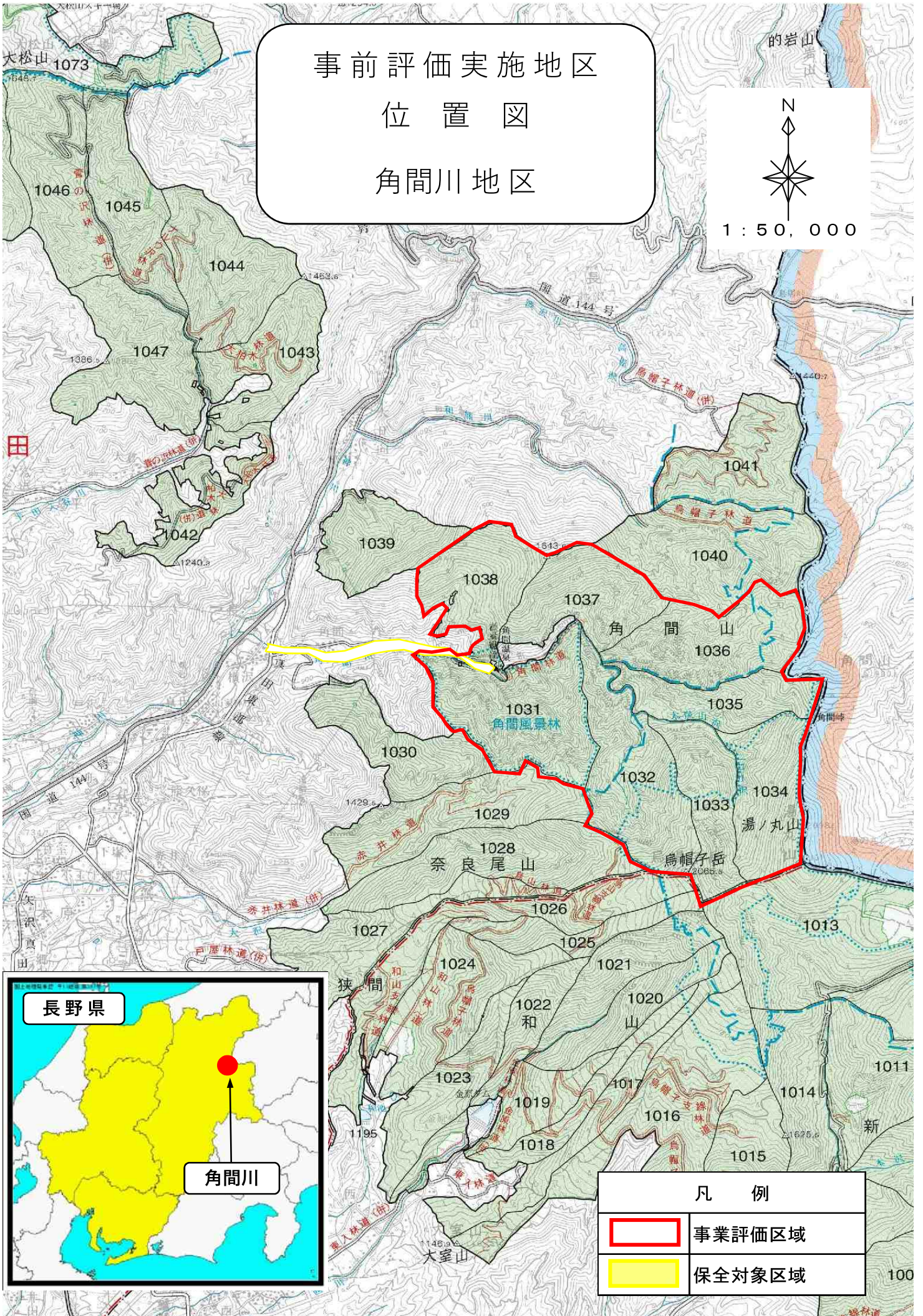
地区概要表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	令和4年度～令和10年度	事業実施地区名 (都道府県名)	かくまがわ 角間川 (長野県)
事業目的	当該地区は、長野県上田市真田町の北東部に位置する。令和元年10月の台風19号の豪雨により、大規模な土石流が発生し、人的被害は無かったものの旅館や市道に多大な被害が発生した。未だ地区内の溪床には不安定土砂が堆積しており、今後の局地的豪雨等により再度の土石流の発生が危惧される。そのため、残留する不安定土砂の固定による土砂の流出を抑止するため、溪間工により溪床の安定化を図り、保全対象の安全を確保する。			事業実施主体	中部森林管理局 東信森林管理署
	溪間工 3基				
主な保全対象	家屋33戸、旅館1戸、市道400m、橋梁7箇所				
総事業費	245,650千円(税込み270,215千円)				
位置図	別紙 位置図のとおり				

事前評価実施地区
位置図
角間川地区



1 : 50, 000



凡 例	
	事業評価区域
	保全対象区域

別紙様式9

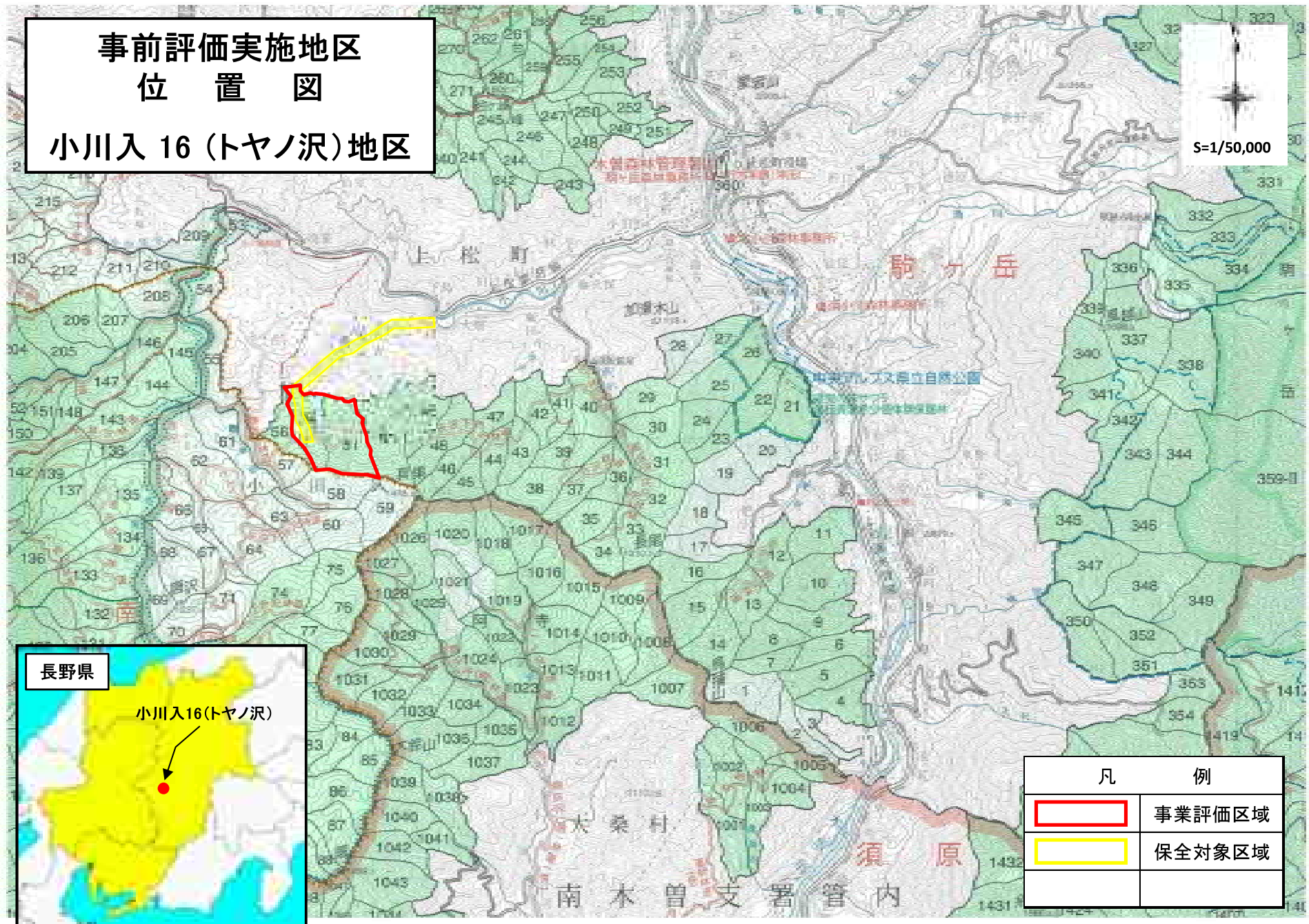
地区概要表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	令和4年度～令和5年度	事業実施地区名 (都道府県名)	おがわいり16(とやのざわ) 小川入16(トヤノ沢) (長野県)
事業目的	<p>当該地は、上松断層による破砕作用を受けた脆弱な地質構造であり、令和3年5月の集中豪雨により山腹斜面が崩壊した。 崩壊土砂は土石流となり高倉地区の水源となっているトヤノ沢へ流下し、濁水の流入により上水道施設が使用できなくなり断水となる等の被害を与えた。 このため、緊急応急工事として、大型土のうを設置し沈砂地を設置すると共に、河床整理を行い土砂の流出防止を図った。 崩壊した山腹斜面は、今後の降雨や融雪等により拡大する危険性が高く、再度、水源施設に被害を与えるおそれがあることから、山腹工を計画し、崩壊地の早期復旧・緑化を行い、林道及び周辺林地、下流域の保全を図る。</p>			事業実施主体	中部森林管理局 木曾森林管理署
主な事業内容	山腹工 0.31ha				
主な保全対象	家屋16戸、町道300m、林道200m、橋梁3箇所、水道施設1箇所				
総事業費	110,000千円 (121,000千円 税込)				
位置図	別紙 位置図のとおり				

事前評価実施地区 位置図

小川入 16 (トヤノ沢)地区

S=1/50,000



長野県

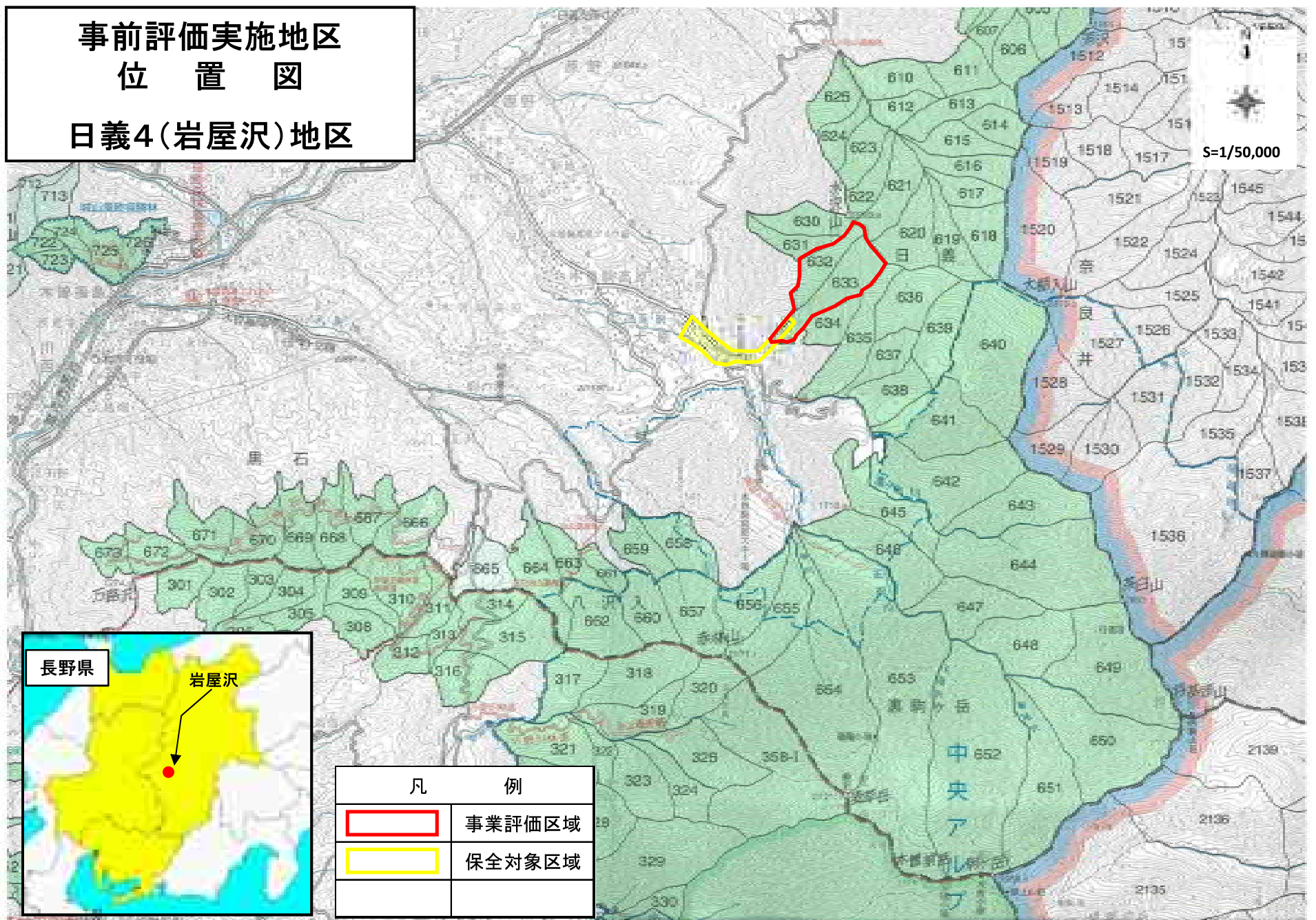
小川入16(トヤノ沢)


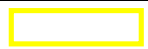
地区概要表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	令和4年度～令和5年度	事業実施地区名 (都道府県名)	ひよし 4 (いわやさわ) 日義 4 (岩屋沢) (長野県)
事業目的	<p>本地区は長野県南西部の中央アルプス(木曾山脈)の西斜面に位置し、下流域には県水産試験場や木曾駒高原別荘地といった重要な保全対象が存在し、年間を通じて多くの観光客も訪れている山地防災上重要な流域である。</p> <p>令和2年7月6日に長野県に停滞した梅雨前線による集中豪雨で、岩屋沢の中流域において新生崩壊が発生して土石流となって下流の正沢川まで流木等を伴って流下し、下流に設置されている既往の砂防ダム(県建設事務所所管)や治山ダム(県林務部所管)に破壊や洗掘等の被害を与えた。</p> <p>このため、緊急応急工事として土石流センサーと監視カメラを設置すると共に、災害関連緊急治山工事として溪間工2基を施工し、溪床内に堆積する不安定土砂の流出防止を図ったが、土石流の発生源である崩壊地の拡大が進行しており、今後の降雨により崩壊した土石が土石流となり流下し、下流域への二次被害等が懸念されることから、山腹工を実施して山腹斜面の安定化、下流域の保全を図る。</p>			事業実施主体	中部森林管理局 木曾森林管理署
主な事業内容	山腹工0.64ha				
主な保全対象	家屋25戸、町道1,400m、県水産試験場				
総事業費	215,000千円 (236,500千円 税込)				
位置図	別紙 位置図のとおり				

事前評価実施地区
位置図
日義4(岩屋沢)地区

北
S=1/50,000



凡 例	
	事業評価区域
	保全対象区域

地区概要表

事業名	保安林整備事業	事業計画期間	令和4年度～令和8年度	事業実施地区名 (都道府県名)	きそだに 木曾谷 (長野県)
事業目的	<p>当該地区は、長野県南西部の木曾川流域源流部に位置し、牧尾ダム、味噌川ダムなど発電用水や中京圏の生活・工業用水の重要な水源地帯であり、水源かん養、国土保全等の公益的機能発揮に期待が高い地域である。</p> <p>また、森林浴発祥の地である赤沢自然休養林のほか、木曾御岳自然休養林、阿寺風致探勝林など優れた自然景観に恵まれ、保健休養の場として多くの人々が訪れるなど、地域の観光資源としても重要な位置づけにある。</p> <p>森林の現況は、天然ヒノキ、サワラ等の木曾五木を含む天然林が50%、人工林はヒノキ、カラマツを主体に40%、その他10%となっている。人工林の林齢構成は7～14齢級が主体であるが、17齢級以上のいわゆる高齢級の森林も3割近くを占めている。</p> <p>事業対象森林は、過密状態が進行するなどで、このまま放置すると表土の侵食による崩壊の発生や、土砂及び倒木が流出し、水土保全機能が著しく低下するおそれがある。</p> <p>このことから、本数調整伐等の森林整備を行い、水源かん養機能等の保安林が持つ公益的機能の維持・増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p>			事業実施主体	中部森林管理局 木曾森林管理署 木曾森林管理署南木曾支署
主な事業内容	本数調整伐等 1,228ha				
主な保全対象					
総事業費	456,704千円(税込み 502,374千円)				
位置図	別紙 位置図のとおり				

事前評価実施地区
位置図
木曾谷森林計画区



凡 例	
	評価区域

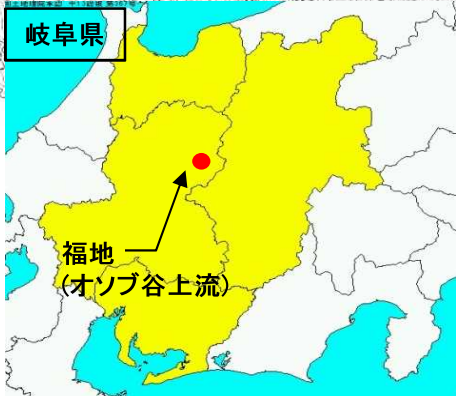
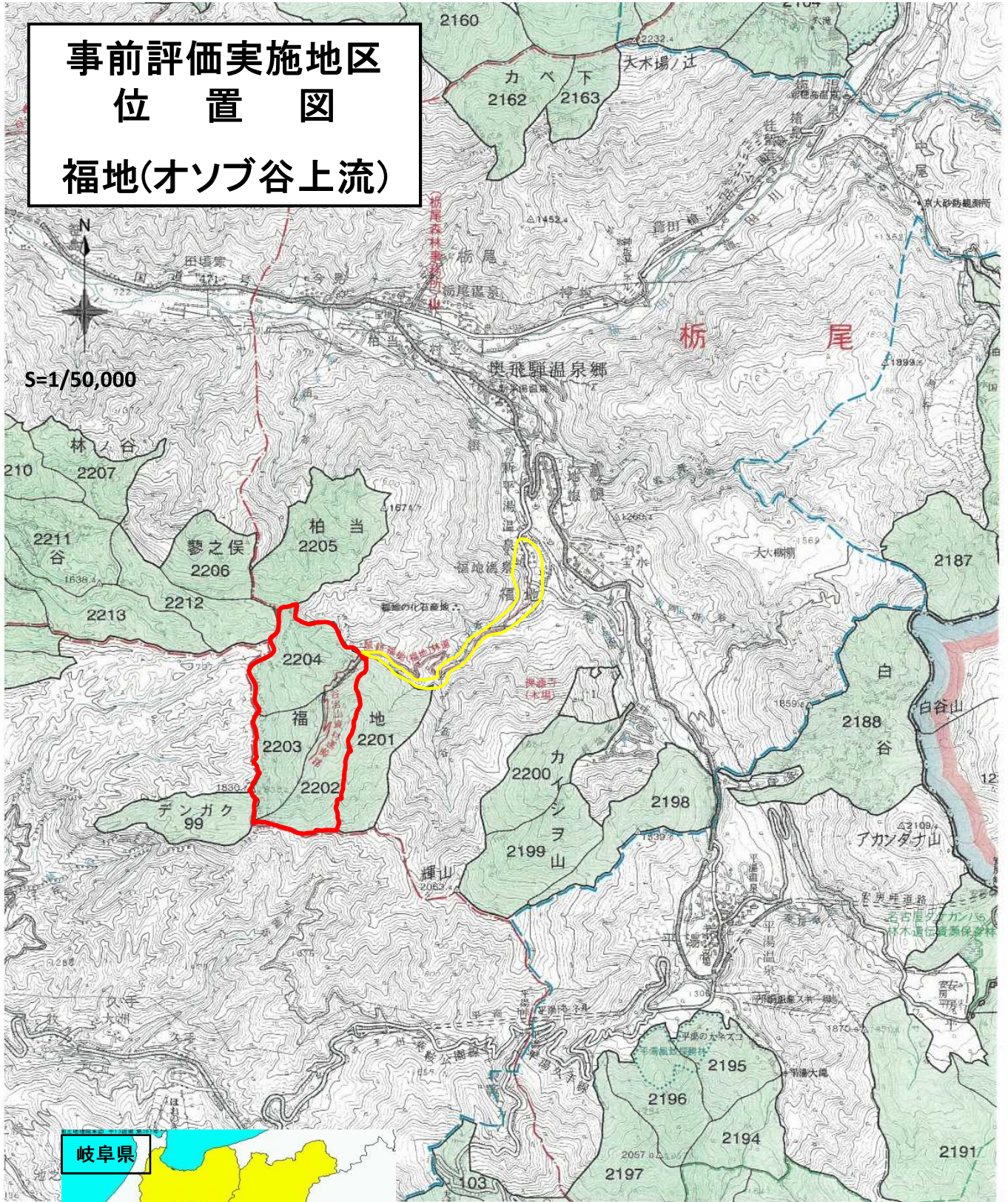
地区概要表



事業名	復旧治山事業	事業計画期間	令和4年度～令和13年度	事業実施地区名 (都道府県名)	北御所川(きたごしょがわ) (長野県)
事業目的	当該地区は、長野県上伊那郡宮田村の西部で木曾山脈の稜線付近を源とし流下する北御所川(太田切川左岸支流)流域である。山岳地特有の急峻な地形と脆弱な地質構造に加え、近年、度々発生している局所的集中豪雨や冬場の凍結・融解等により、新たな崩壊の発生や既存崩壊地の拡大が進み、溪流内には多量の不安定土砂が堆積している。令和3年8月の大雨の際には、更なる崩壊の拡大や溪流内に堆積していた土砂が流出した。さらに、今後の降雨により土砂の流出、下流の保全対象への被害が懸念される。このことから、土砂の発生源である崩壊地の復旧及び溪間工による不安定土砂の固定を行い、下流域の保全を図ることを目的に本事業を実施する。			事業実施主体	中部森林管理局 伊那谷総合治山事業所
主な事業内容	溪間工10基、山腹工0.07ha				
主な保全対象	県道1,000m、林道300m、橋梁2箇所、発電施設2箇所				
総事業費	645,798 千円 (710,377千円税込み)				
位置図	別紙 位置図のとおり				

地区概要表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	令和1年度～令和10年度	事業実施地区名 (都道府県名)	ふくち(おそぶだにじょうりゅう) 福地(オソブ谷上流) (岐阜県)
事業目的	当該地区は岐阜県高山市東部の奥飛騨温泉郷に位置し、高原川の左岸支流にあたる。平成29年8月の台風3号に伴う集中豪雨により被害を受け復旧計画を策定し事業を行っていたが、令和2年7月の豪雨により再び被災し、オソブ谷において大規模な土砂流出、流域の荒廃化が拡大し、早急な治山対策が必要となっている。このことから、令和3年度に再調査を実施し、事業内容の変更に伴って総事業費に変動が生じ、費用対効果の確認が必要となったことから、平成30年度に行った評価について再評価するものである。			事業実施主体	中部森林管理局 飛騨森林管理署
主な事業内容	溪間工6基				
主な保全対象	人家4戸、市道665m、橋梁3箇所				
総事業費	309,034 千円(339,937千円税込み)				
位置図	別添 位置図のとおり				

事前評価実施地区
位置図
福地(オソブ谷上流)



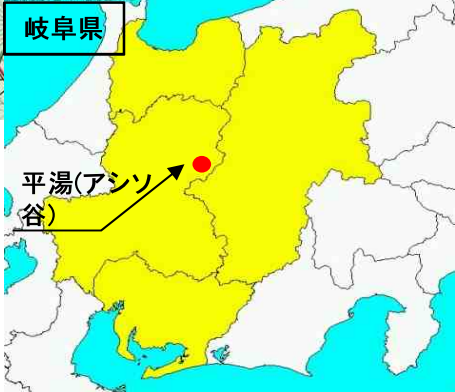
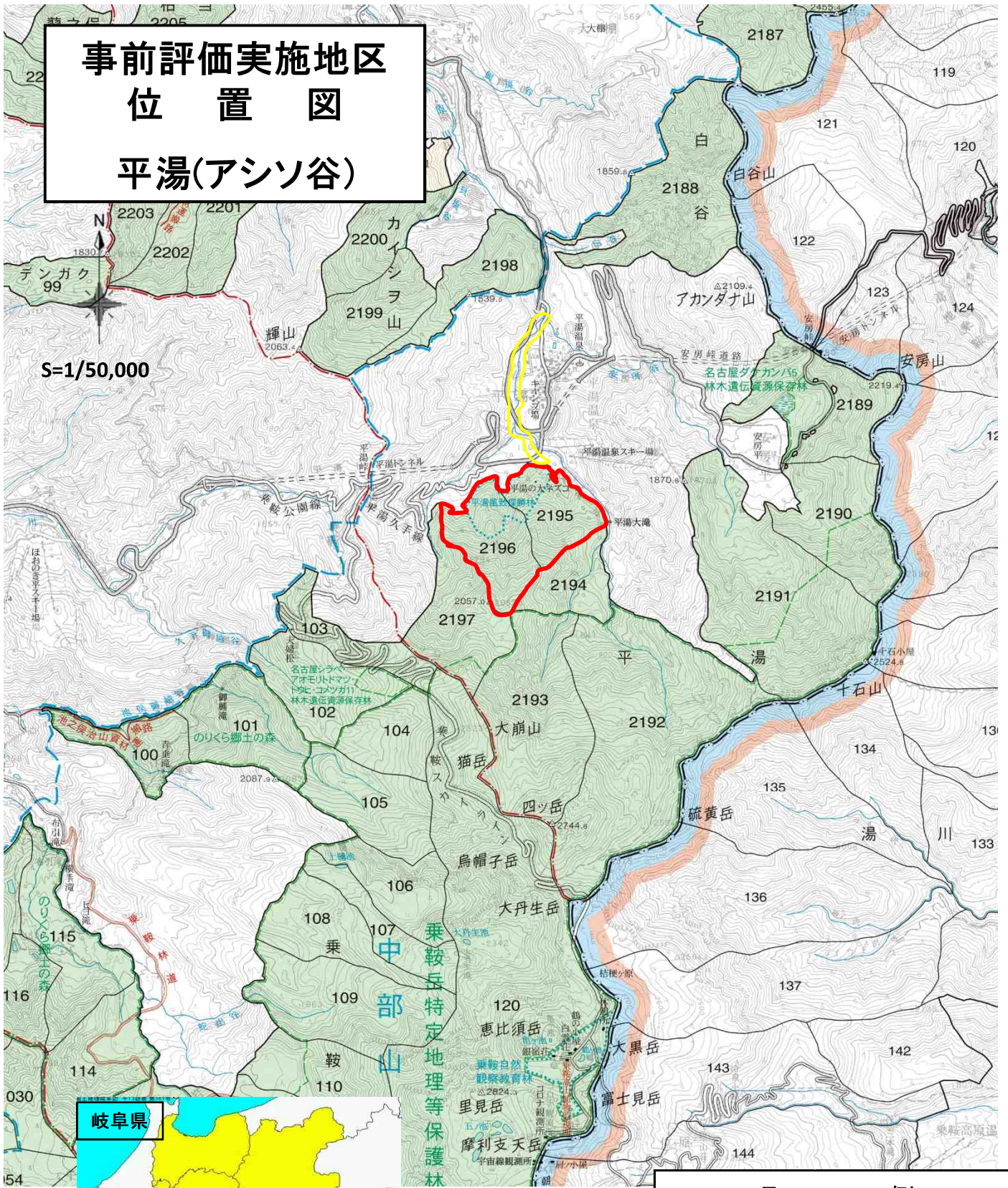
凡 例	
	事業評価区域
	保全対象区域



地区概要表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	令和4年度～令和6年度	事業実施地区名 (都道府県名)	ひらゆ(あしそだに) 平湯(アシソ谷) (岐阜県)
事業目的	<p>当該地区は、岐阜県北部の高山市北東部、長野県との県境に当たる飛騨山脈に位置し、地質は美濃帯の堆積物の上部に溶岩流地形が存在している。治山事業は、アシソ谷においては昭和62年より防災施設を施工していたが、支溪においては未実施となっていた。</p> <p>令和2年7月の豪雨では、浸食された土石が一気に流れ下り、下流部の国道158号線及びキャンプ場内に堆積した。このため、土砂が流下し移動性の高い不安定土石が溪床内に確認されたため、浸食土砂の生産が激しい箇所には治山施設を整備し、下流域の保全及び保安林機能の増進に寄与することを目的とし、本事業を実施する。</p>			事業実施主体	中部森林管理局 飛騨森林管理署
主な事業内容	溪間工4基				
主な保全対象	国道150m、キャンプ場				
総事業費	51,800 千円(56,980千円税込み)				
位置図	別添 位置図のとおり				

事前評価実施地区 位置図 平湯(アシソ谷)

S=1/50,000

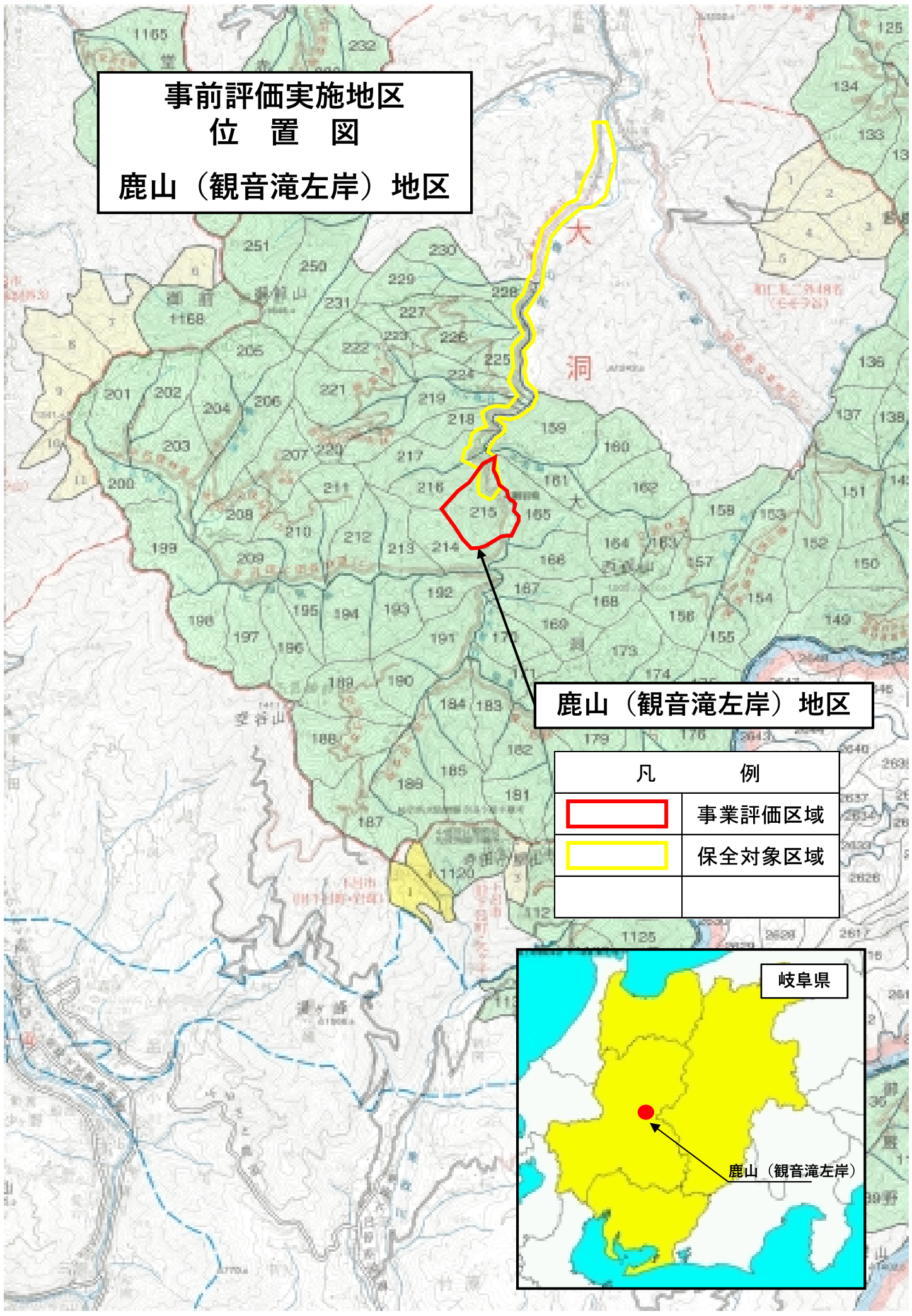


凡 例	
	事業評価区域
	保全対象区域


地区概要表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	令和4年度～令和8年度	事業実施地区名 (都道府県名)	かやま(かんのんだきさがん) 鹿山(観音滝左岸) (岐阜県)
事業目的	<p>当地区は、岐阜県下呂市小坂町にある飛騨川上流の鹿山支流鹿山筋川上流に位置し、基岩の濃飛流紋岩は活断層や凍結融解等の影響から破碎風化作用を受けた脆弱な地質となっており、崩壊しやすい地形地質である。令和3年7月豪雨により既設山腹工(S29施工)が再崩壊し、直下の市道(併用林道)に大量の土砂や倒木が堆積した。しかし現在もなお崩壊下部には崩壊した土塊や倒木が不安定な状態で存在しており、今後の降雨等により山腹の拡大崩壊や溪流内に堆積している不安定土砂が流出し、下流部保全対象に被害を与えることが懸念されることから、崩壊斜面は現場吹付法砕工により復旧、不安定土砂流出抑止を図るための治山ダムを整備し、下流域の保全及び保安林機能の増進に寄与することを目的に本事業を実施する。</p>			事業実施主体	中部森林管理局 岐阜森林管理署
主な事業内容	溪間工1基、山腹工0.50ha				
主な保全対象	家屋12戸、市道2,100m、橋梁1箇所				
総事業費	354,545千円(389,999千円税込み)				
位置図	別紙 位置図のとおり				

事前評価実施地区
位置図
鹿山（観音滝左岸）地区



鹿山（観音滝左岸）地区

凡 例	
	事業評価区域
	保全対象区域

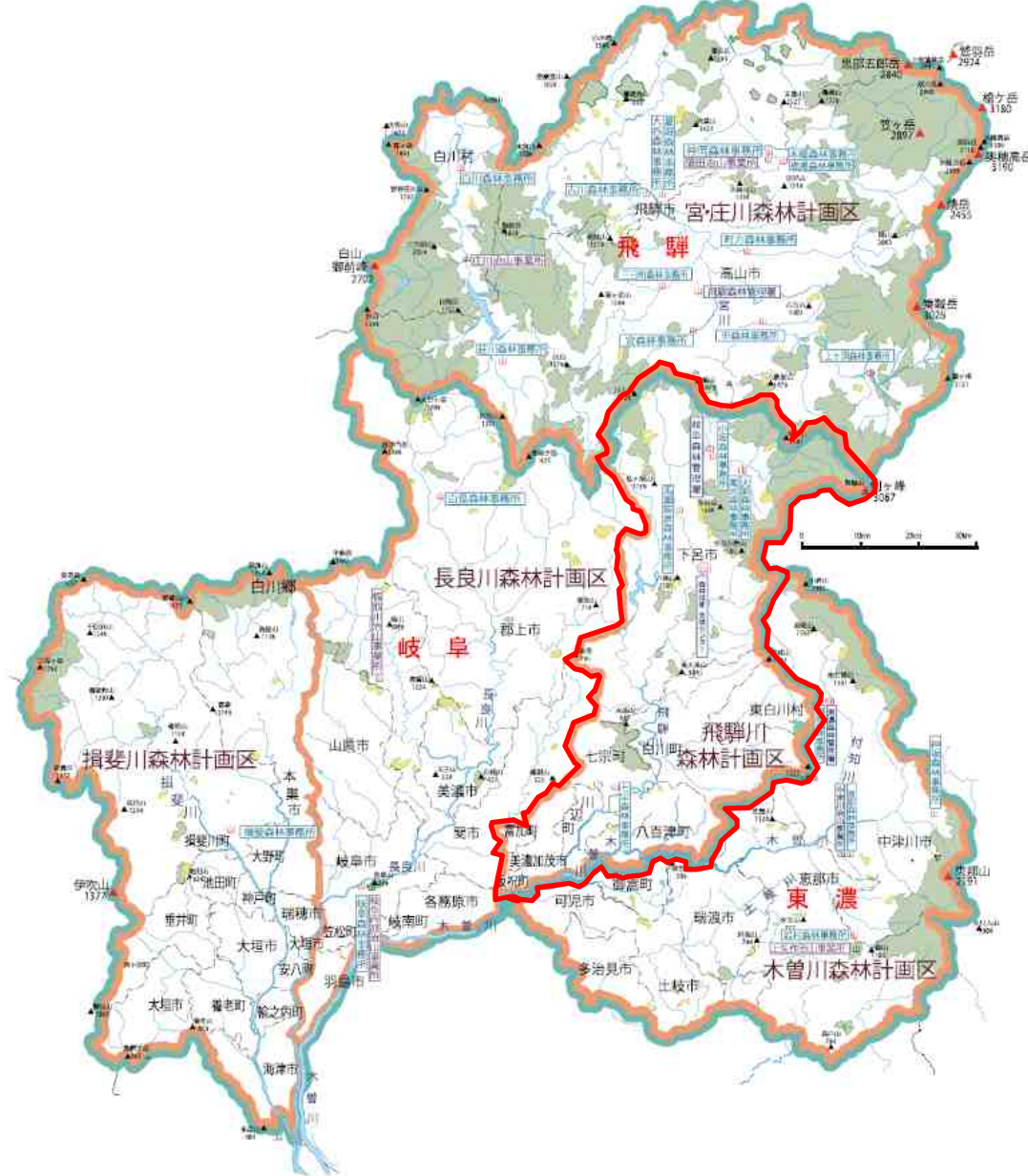


地区概要表

事業名	保安林整備事業	事業計画期間	令和4年度～令和8年度	事業実施地区名 (都道府県名)	ひだがわ 飛騨川 (岐阜県)
事業目的	<p>当該地区は、岐阜県中央東部の木曾川水系の支流飛騨川流域に位置し、御嶽山等の山嶺や優れた渓谷美など自然景観に恵まれた地域である。地区内は、飛騨木曾川国定公園、位山舟山および御嶽山県立公園に指定され、森林浴・スキー・登山等のレクリエーションや保健休養の場として広く国民に利用されている。</p> <p>また、流域は多くの発電用ダムや中京圏の生活・工業用水の水源地帯として重要な役割を担っており、ほぼ全域が水源かん養、土砂流出防備等の保安林に指定され、水土保持等の公益的機能発揮に期待が高い地域である。</p> <p>森林の現況は、面積割合でナラ類、カンバ類等を主体とする天然林が27%、ヒノキ、スギ、カラマツを主体とする人工林が64%、その他が9%と人工林率が高い。人工林の林齢構成は10～14齢級が全体の6割を占めている。</p> <p>事業対象森林は、過密状態が進行するなど、このまま放置すると表土の侵食による崩壊の発生や、土砂及び倒木が流出し、水土保持機能が著しく低下するおそれがある。</p> <p>このことから、本数調整伐等の森林整備を行い、水源かん養機能等の保安林が持つ公益的機能の維持・増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p>			事業実施主体	中部森林管理局 岐阜森林管理署
主な事業内容	本数調整伐等 370ha				
主な保全対象					
総事業費	137,528千円(税込み 151,280千円)				
位置図	別紙 位置図のとおり				

事前評価実施地区 位置図

飛騨川森林計画区



凡 例	
	評価区域

別紙様式9

地区概要表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	令和4年度～令和5年度	事業実施地区名 (都道府県名)	犬山(栗栖)(いぬやま(くりす)) (愛知県)
事業目的	当該地区は、愛知県の北西部に位置し、この付近一帯の地質はチャートで、屹立した崖を有する小高い山地を形成しており、付近を通過する華立断層の影響等によって基岩には亀裂が多く認められる。斜面直下には人家等の保全対象が存在するため、平成6年度及び平成16年度に特殊配合モルタル吹付工を施工したが経年劣化の影響により施工箇所の破損が多く認められ吹付内部の岩盤が風化侵食し不安定な状況にある。また、令和元年台風19号等による豪雨時に、下部に堆積する土砂が民家へ流出する被害を引き起こした。このまま放置すると落石及び岩盤崩落等の危険があり、降雨時の土砂流出の恐れもあるため早期に復旧し保全対象の保全及び保安林機能の増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。			事業実施主体	中部森林管理局 愛知森林管理事務所
主な事業内容	山腹工0.15ha				
主な保全対象	家屋3戸、市道100m				
総事業費	100,000千円(110,000千円税込み)				
位置図	別紙 位置図のとおり				

